

館山

会議所だより

●昭和 51 年 7 月 10 日 第 3 種郵便物認可 ●令和 8 年 1 月 10 日発行 (毎月 1 回 10 日発行) 第 696 号 ●発行所／館山商工会議所 ●編集発行責任者／専務理事 上野 学 ●〒 294-0047 千葉県館山市八幡 821 ●TEL 0470-22-8330 FAX 0470-23-4011 ●印刷所／株式会社 集英舎 ●定価 1 部 20 円 (講読料は会費に含まれています)

会議所は企業の要、地域の灯

2026

会員数 891 名

令和 8 年 1 月 5 日現在

謹賀新年



館山商工会議所 HP



館山商工会議所
公式 LINE 始めました!

新年明けましておめでとうございます

◇新年のごあいさつ 館山商工会議所 会頭 安田信之

◇年頭所感

—変革と価値共創による日本経済の再出発—

日本商工会議所 会頭 小林 健

◇新年のごあいさつ

「オール館山で創る 未来のたてやま」

館山市長 森 正一

◇新年のごあいさつ

千葉県知事 熊谷俊人

◇市内事業所永年勤続優良従業員表彰式を挙行

～市内事業所の従業員 32 名が表彰の栄に浴する～

◇夕日と富士山の写真パネル設置プロジェクトのご報告

無担保、無保証人、低利子で融資

～マル経融資制度～
利子補給 (1.0%) 制度が利用できます!

マル経融資制度は、小規模事業者の皆様の経営改善に必要な事業資金を館山商工会議所の推薦により「株日本政策金融公庫」から借りられる国の制度です。

担保、保証人	不 要
貸付限度額	2,000 万円
返済期間	10 年以内 (*運転資金は 7 年以内)
利 率	年 2.30% (令和 8 年 1 月 5 日現在)
融資対象	従業員 (家族従事者、パート、法人の役員除く) が商業・サービス業は 5 名以下、製造業・その他は 20 名以下の小規模事業者

※ご利用の際には各種要件がございますのでお問い合わせください。☎ 22-8330



館山商工会議所

会頭 安田信之

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より館山商工会議所の事業及び活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

先ずは、昨年11月より、会員の皆様のお力添えで、館山商工会議所会頭としての2期目を迎えるました。感謝を申し上げますとともに、

緊張感を持ち続け、心新たに経済の再生に向けて精力的に動く覚悟です。年頭に当たり、今後、重点的に取り組む事業について触れたいと思います。

一点目は、地域経営についての取組です。地域経済を取り巻く環境と市内外の情勢は、日々刻々と変化し、非常に厳しい状況が続いています。人の減少と少子高齢化に歯止めが掛からず、将来への明るい展望が中々、見い出せ

ない現状は、館山市のみならず安房地域全体が抱える重要な課題です。今こそ、館山市内外に誇れる豊かな自然、豊富な農水産物、多様な人材など、ない物ねだりではなく、あるもの磨きに官民が一体となって邁進していく必要があります。土木・建設、環境、福祉、観光など経済活動の全ての分野で、地域で得られた資金を地域外に流出することなく、地域内で循環させ、持続可能で、明るく、豊かな経済社会を目指していくなければなりません。

具体的に、いかなる手段、手法で地域内の資金を得ることが出来るかは、会員の皆様、関係者の皆様と英知を結集して、地域全体の総力を実現していきたいと考えています。

二点目は、館山湾の利用による地域全体の活性化についてです。特に、富裕層が所有する大型ヨットや高級クルー

ザーが寄港できる岸壁の整備と旧安房水産高校跡地の利活用は、大きな可能性を秘めています。具体的には館山夕日桟橋の施設の充実は勿論のこと、その南側に位置する館山港耐震岸壁の整備と利活用については、今後に向けて大きな課題であり、港湾管理者である千葉県とその利活用の最前線である館山市とともに、促進していく考えです。

また、旧安房水産高校跡地の利活用は、民間活力を最大限に發揮して、前述の施設や渚の駅、さらには館山城や城山公園との一体的、総合的な視点で、市民や来訪者にとつて魅力的な空間づくりに関わり、促進していく考えです。

三点目は人材(財)の確保についてです。特に若い人材の確保に長年にわたり、様々な業界や業種から、質量ともに人材不足が叫ばれています。

本年も宜しくお願い致します

里見伏姫牛 HAMBURGER

営業時間 11:00 ~ 16:00 水曜定休
館山市湊 493-24 昭和運送興業(株)となり

くかを突き詰めていきたいと考えています。

新年度からスタートする

館山市の基本構想では、「みんなが主役 住んで楽しい来て楽しいまち・館山」を掲げています。その実現に

向けて、会員の皆様とともに、全力で取り組んで参ります。

この難局を乗り切り、商工業の発展のために尽力していく所存ですので、ご理解とご協力をお願いするとともに、今年一年が素晴らしい年でありますよう御祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

法律・税務・商工相談

■法 律 千葉県産業振興センター

■税 务 葛西 博 先生
川名 敏昭 先生

■商標 特許 神崎 正浩 先生



ご相談のときは事前にご連絡下さい。

会議所窓口相談

商工相談
金融相談

毎週水曜日

(電話相談随時
お気軽にお連絡下さい)

日本政策金融公庫
特別金融相談日

毎月第3金曜日

(事前にご連絡下さい)



副会頭

小金 晴男

【社会的連帯経済

～地域全体の連帯で描く、館山経済の新たな循環～】

謹んで新春のお慶びを申し上げます。平素より商工会議所活動に格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

先の議員総会におきまして、副会頭再任を仰せつかりました。重責に身の引き締まる思いであり、館山の地域経済発展のため、これまで以上に努める覚悟でございます。

当地域は、少子高齢化や人口減少という長期的課題に加え、国際情勢の変動や環境問題の深刻化など、複合的な転換期にあります。こうした時代だからこそ必要なのは、地域全体を一つの経済圏として再構築する包括的な産業政策です。

個々の産業は独立しているように見えても、実際には密接に循環し合っています。宿泊・飲食業には、農業・漁業などの第一次産業、運輸・物流、設備保守、サービス産業など多様な分野が関わり、地域の裾野に支えられています。どの産業も地域の基盤なしには成り立ちません。

今求められているのは、こうした多様な産業が「公共」を旗印に行政と連携し、地域経済を支える社会的連帯経済の視点です。地域産業の活性化という共通目的を共有し、業種の垣根を越えて連帯することで、館山に新たな経済循環を創り出すことができます。

皆様の一年が明るく希望に満ちたものとなりますようお祈り申し上げます。経済の循環が進むことで笑顔が広がり、より素晴らしい館山を築いていけると感じております。引き続き商工会議所へのご支援をお願い申し上げます。



副会頭

白幡 進

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

年頭にあたり一言ご挨拶申し上げます。

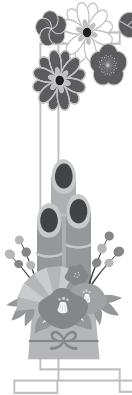
私達を取り巻く環境、特に人口問題に関して、日本が超高齢社会に突入して久しく、65歳以上の人口がすでに全体の3割に達しており、市町村にとってあらゆる高齢化社会に対応した対策は重要性を増しています。加えて核家族化の進行により「空き家」対策は避けて通れない課題となっています。

昨年11月、大分県で大火災が発生し、折からの強風と狭い道路、そして「空き家」の存在（4割）が延焼を加速させたと報道されていました。

先の国交省の発表によると、「空き家」は令和15年には、三軒に一軒の割合になると報告されています。私たちの地域でも「空き家バンク」が立ち上がり、行政と協議しながら活動が行われてきました。しかしながらその速度と利活用のマッチングが十分にならないのが現状です。又、近年の建築資材の高騰で、新築家屋の着工も厳しいものとなっています。その点、「空き家」のリノベーション・再利用は持続可能な社会のためにも大切な資源と思われます。

今後、行政・経済三団体と連携してこれらの課題を推し進められればと考えます。

結びに会員企業の充実・発展を心よりお祈り申し上げます。



職員監

事

原佐川渡渡山本御三本野長角館高島小川上神加長小上白小安
子子宮笠原野幡金田

藤名辺邊口橋神浦間口尾田石橋山名山子藤田原野幡金田所

克興克雄茂正亮徳英明典吉正幸正房光立絵克久晴信

己二己二也治一重喜亨行子夫文丸彦信俊巳美美富潤学進男之

常議員
専務理事
副会頭
館山商工會議所

謹賀新年





日本商工会議所
会頭 小林 健

変革と価値共創による日本経済の再出発

明けましておめでとうございます。

2026年の新春を迎え、

謹んでお慶び申し上げます。

【成長の果実を資金や投資へ】

成長の果実を資金や投資へ

さて、昨年の世界情勢は、

ロシアによるウクライナ侵

攻の長期化や中東情勢の緊

迫化といった地政学リスク

に加え、関税・輸出管理・産

業補助・投資審査などが複合

的に作用し、通商環境の再編

が進行するなど、不確実性が

一段と高まつた一年であり

ました。

国内に目を向けてみると、日

本経済は資金と物価の好循

環に向けた兆しが明確にな

りつつありますが、依然とし

て物価上昇に資金が追いつ

かず、実質賃金の着実な回復

が最大の課題です。長年にわ

たり染みついたデフレマイ

ンドを払拭し、成長の果実を

出発」に向けた最大の鍵であ

ります。

こうした中、国政におい

ては、憲政史上初の女性総理として高市総理が誕生し、就任直後からトランプ米大統領をはじめ各国首脳との会談を精力的に行い、首脳間の信頼醸成に努めてこれらました。また、高市総理が議長を務める「日本成長戦略会議」におきましても、AI・半導体・造船・量子など17の戦略分野への投資に加え、人材の強化・労働市場改革、スタートアップ支援、賃上げ環境整備など、将来の成長力を高める政策課題が明確に示されました。国の成長戦略と歩調を合わせつつ、民間の現場から具体的な提言と実行を積み重ねていくことが、私たちの責務であります。

【成長型経済への転換を確固たるものに】「変革」と「価値共創】

わが国の経済は、成長型経済への移行に向けた正念場を迎えています。しかし、企業数の99・7%、雇用の約7割(3大都市圏を除くと約9割)を占める中小企業は、

固たるものとするためには、個々の企業が自己変革を果たし、変化する外部環境に適応していくなど、絶えず「変革」に挑み続ける姿勢が重要です。同時に、不確実性の時代においては、多様な主体が互いの強みを持ち寄り、新たな価値を共に創り、共に分かち合う「価値共創」の発想こそが、これから日本経済を支える基盤になると確信しています。

【変革と価値共創による日本経済の再出発】に向けた三つの重点課題】

こうした考え方から、私はこのスローガンとして「変革と価値共創による日本経済の再出発」を掲げました。

このスローガンの下、以下の3点を重点課題として当所の運営に取り組んでまいります。

1点目は「成長型経済の実現に向けた環境整備」です。

成長型経済を実現するには、コストパッケージングインフレから、需要拡大によるデマンドブル型インフレへと転換し、資金と投資の好循環を維持させる必要があります。

2点目は「地域の稼ぐ力の向上による地域経済循環の推進」です。持続可能な観光地域づくり、地域に新たな投資を呼び込むためのインフラ整備や税財政支援、地域の産業を担う人材の確保・育成支援が求められます。いずれも商工会議所の主要な活動テーマであり、当所はもとより、各地商工会議所が中核となつて取り組まれることを

そのためにも、適切な価格転嫁と取引適正化の推進は、人手不足や労務費の増加、さらには消費低迷など多くの課題に直面しています。

成長型経済への転換を確実化するためには、個々の企業が自己変革を果たし、変化する外部環境に適応していくなど、絶えず「変革」に挑み続ける姿勢が重要です。同時に、不確実性の時代においては、多様な主体が互いの強みを持ち寄り、新たな価値を共に創り、共に分かち合う「価値共創」の発想こそが、これから日本経済を支える基盤になると確信しています。

【現場主義・双方向主義】を

さらに発展させ、現場の声に真摯に向き合いながら、中小企業と地域の活性化、日本経済のさらなる成長に向けて、皆さまと共に全力を尽くしてまいります。皆さまの多くなるご支援、ご協力をお願い申上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

私は「原点は対話である」

という信念の下、会頭就任以来、全国各地を訪問し、地域や事業者の声を伺い、各

地域が抱える課題の把握に努めてまいりました。今後は

世代型社会保障制度の構築につきましても、引き続き要望してまいります。

2点目は「変革と価値共創による中小企業・小規模事業者の『稼ぐ力』の強化」です。成長型経済の実現には、中小企業・小規模事業者の付加価値と生産性の向上が不可欠であり、新分野進出、DX・GXの推進、知的財産の創造・保護・活用、海外展開、スタートアップとの連携などへの挑戦が求められます。また、事業承継を契機として、より強く魅力ある企業へと生まれ変わることが重要です。

3点目は「地域の稼ぐ力の向上による地域経済循環の推進」です。持続可能な観光地域づくり、地域に新たな投資を呼び込むためのインフラ整備や税財政支援、地域の産業を担う人材の確保・育成支援が求められます。いずれも商工会議所の主要な活動

テーマであり、当所はもとより、各地商工会議所が中核となつて取り組まれることを

そのためにも、適切な価格転嫁と取引適正化の推進は、人手不足や労務費の増加、さらには消費低迷など多くの課題に直面しています。

成長型経済への転換を確実化するためには、個々の企業が自己変革を果たし、変化する外部環境に適応していくなど、絶えず「変革」に挑み続ける姿勢が重要です。同時に、不確実性の時代においては、多様な主体が互いの強みを持ち寄り、新たな価値を共に創り、共に分かち合う「価値共創」の発想こそが、これから日本経済を支える基盤になると確信しています。

【現場主義・双方向主義】を

さらに発展させ、現場の声に真摯に向き合いながら、中小企業と地域の活性化、日本経済のさらなる成長に向けて、皆さまと共に全力を尽くしてまいります。皆さまの多くなるご支援、ご協力をお願い申上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

私は「原点は対話である」

という信念の下、会頭就任以来、全国各地を訪問し、地域や事業者の声を伺い、各

地域が抱える課題の把握に努めてまいりました。今後は

世代型社会保障制度の構築につきましても、引き続き要望してまいります。

2点目は「変革と価値共創による中小企業・小規模事業者の『稼ぐ力』の強化」です。成長型経済の実現には、中小企業・小規模事業者の付加価値と生産性の向上が不可欠であり、新分野進出、DX・GXの推進、知的財産の創造・保護・活用、海外展開、スタートアップとの連携などへの挑戦が求められます。また、事業承継を契機として、より強く魅力ある企業へと生まれ変わることが重要です。

3点目は「地域の稼ぐ力の向上による地域経済循環の推進」です。持続可能な観光地域づくり、地域に新たな投資を呼び込むためのインフラ整備や税財政支援、地域の産業を担う人材の確保・育成支援が求められます。いずれも商工会議所の主要な活動

テーマであり、当所はもとより、各地商工会議所が中核となつて取り組まれることを

そのためにも、適切な価格転嫁と取引適正化の推進は、人手不足や労務費の増加、さらには消費低迷など多くの課題に直面しています。

成長型経済への転換を確実化するためには、個々の企業が自己変革を果たし、変化する外部環境に適応していくなど、絶えず「変革」に挑み続ける姿勢が重要です。同時に、不確実性の時代においては、多様な主体が互いの強みを持ち寄り、新たな価値を共に創り、共に分かち合う「価値共創」の発想こそが、これから日本経済を支える基盤になると確信しています。

【現場主義・双方向主義】を

さらに発展させ、現場の声に真摯に向き合いながら、中小企業と地域の活性化、日本経済のさらなる成長に向けて、皆さまと共に全力を尽くしてまいります。皆さまの多くなるご支援、ご協力をお願い申上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

私は「原点は対話である」

という信念の下、会頭就任以来、全国各地を訪問し、地域や事業者の声を伺い、各

地域が抱える課題の把握に努めてまいりました。今後は

世代型社会保障制度の構築につきましても、引き続き要望してまいります。

2点目は「変革と価値共創による中小企業・小規模事業者の『稼ぐ力』の強化」です。成長型経済の実現には、中小企業・小規模事業者の付加価値と生産性の向上が不可欠であり、新分野進出、DX・GXの推進、知的財産の創造・保護・活用、海外展開、スタートアップとの連携などへの挑戦が求められます。また、事業承継を契機として、より強く魅力ある企業へと生まれ変わることが重要です。

3点目は「地域の稼ぐ力の向上による地域経済循環の推進」です。持続可能な観光地域づくり、地域に新たな投資を呼び込むためのインフラ整備や税財政支援、地域の産業を担う人材の確保・育成支援が求められます。いずれも商工会議所の主要な活動

テーマであり、当所はもとより、各地商工会議所が中核となつて取り組まれることを

そのためにも、適切な価格転嫁と取引適正化の推進は、人手不足や労務費の増加、さらには消費低迷など多くの課題に直面しています。

成長型経済への転換を確実化するためには、個々の企業が自己変革を果たし、変化する外部環境に適応していくなど、絶えず「変革」に挑み続ける姿勢が重要です。同時に、不確実性の時代においては、多様な主体が互いの強みを持ち寄り、新たな価値を共に創り、共に分かち合う「価値共創」の発想こそが、これから日本経済を支える基盤になると確信しています。

【現場主義・双方向主義】を

さらに発展させ、現場の声に真摯に向き合いながら、中小企業と地域の活性化、日本経済のさらなる成長に向けて、皆さまと共に全力を尽くしてまいります。皆さまの多くなるご支援、ご協力をお願い申上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

私は「原点は対話である」

という信念の下、会頭就任以来、全国各地を訪問し、地域や事業者の声を伺い、各

地域が抱える課題の把握に努めてまいりました。今後は

世代型社会保障制度の構築につきましても、引き続き要望してまいります。

2点目は「変革と価値共創による中小企業・小規模事業者の『稼ぐ力』の強化」です。成長型経済の実現には、中小企業・小規模事業者の付加価値と生産性の向上が不可欠であり、新分野進出、DX・GXの推進、知的財産の創造・保護・活用、海外展開、スタートアップとの連携などへの挑戦が求められます。また、事業承継を契機として、より強く魅力ある企業へと生まれ変わることが重要です。

3点目は「地域の稼ぐ力の向上による地域経済循環の推進」です。持続可能な観光地域づくり、地域に新たな投資を呼び込むためのインフラ整備や税財政支援、地域の産業を担う人材の確保・育成支援が求められます。いずれも商工会議所の主要な活動

テーマであり、当所はもとより、各地商工会議所が中核となつて取り組まれることを

そのためにも、適切な価格転嫁と取引適正化の推進は、人手不足や労務費の増加、さらには消費低迷など多くの課題に直面しています。

成長型経済への転換を確実化するためには、個々の企業が自己変革を果たし、変化する外部環境に適応していくなど、絶えず「変革」に挑み続ける姿勢が重要です。同時に、不確実性の時代においては、多様な主体が互いの強みを持ち寄り、新たな価値を共に創り、共に分かち合う「価値共創」の発想こそが、これから日本経済を支える基盤になると確信しています。

【現場主義・双方向主義】を

さらに発展させ、現場の声に真摯に向き合いながら、中小企業と地域の活性化、日本経済のさらなる成長に向けて、皆さまと共に全力を尽くしてまいります。皆さまの多くなるご支援、ご協力をお願い申上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

私は「原点は対話である」

という信念の下、会頭就任以来、全国各地を訪問し、地域や事業者の声を伺い、各

地域が抱える課題の把握に努めてまいりました。今後は

世代型社会保障制度の構築につきましても、引き続き要望してまいります。

2点目は「変革と価値共創による中小企業・小規模事業者の『稼ぐ力』の強化」です。成長型経済の実現には、中小企業・小規模事業者の付加価値と生産性の向上が不可欠であり、新分野進出、DX・GXの推進、知的財産の創造・保護・活用、海外展開、スタートアップとの連携などへの挑戦が求められます。また、事業承継を契機として、より強く魅力ある企業へと生まれ変わることが重要です。

3点目は「地域の稼ぐ力の向上による地域経済循環の推進」です。持続可能な観光地域づくり、地域に新たな投資を呼び込むためのインフラ整備や税財政支援、地域の産業を担う人材の確保・育成支援が求められます。いずれも商工会議所の主要な活動

テーマであり、当所はもとより、各地商工会議所が中核となつて取り組まれることを

そのためにも、適切な価格転嫁と取引適正化の推進は、人手不足や労務費の増加、さらには消費低迷など多くの課題に直面しています。

成長型経済への転換を確実化するためには、個々の企業が自己変革を果たし、変化する外部環境に適応していくなど、絶えず「変革」に挑み続ける姿勢が重要です。同時に、不確実性の時代においては、多様な主体が互いの強みを持ち寄り、新たな価値を共に創り、共に分かち合う「価値共創」の発想こそが、これから日本経済を支える基盤になると確信しています。

【現場主義・双方向主義】を

さらに発展させ、現場の声に真摯に向き合いながら、中小企業と地域の活性化、日本経済のさらなる成長に向けて、皆さまと共に全力を尽くしてまいります。皆さまの多くなるご支援、ご協力をお願い申上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

私は「原点は対話である」

という信念の下、会頭就任以来、全国各地を訪問し、地域や事業者の声を伺い、各

地域が抱える課題の把握に努めてまいりました。今後は

世代型社会保障制度の構築につきましても、引き続き要望してまいります。

2点目は「変革と価値共創による中小企業・小規模事業者の『稼ぐ力』の強化」です。成長型経済の実現には、中小企業・小規模事業者の付加価値と生産性の向上が不可欠であり、新分野進出、DX・GXの推進、知的財産の創造・保護・活用、海外展開、スタートアップとの連携などへの挑戦が求められます。また、事業承継を契機として、より強く魅力ある企業へと生まれ変わることが重要です。

3点目は「地域の稼ぐ力の向上による地域経済循環の推進」です。持続可能な観光地域づくり、地域に新たな投資を呼び込むためのインフラ整備や税財政支援、地域の産業を担う人材の確保・育成支援が求められます。いずれも商工会議所の主要な活動

テーマであり、当所はもとより、各地商工会議所が中核となつて取り組まれることを

そのためにも、適切な価格転嫁と取引適正化の推進は、人手不足や労務費の増加、さらには消費低迷など多くの課題に直面しています。

成長型経済への転換を確実化するためには、個々の企業が自己変革を果たし、変化する外部環境に適応していくなど、絶えず「変革」に挑み続ける姿勢が重要です。同時に、不確実性の時代においては、多様な主体が互いの強みを持ち寄り、新たな価値を共に創り、共に分かち合う「価値共創」の発想こそが、これから日本経済を支える基盤になると確信しています。

【現場主義・双方向主義】を

さらに発展させ、現場の声に真摯に向き合いながら、中小企業と地域の活性化、日本経済のさらなる成長に向けて、皆さまと共に全力を尽くしてまいります。皆さまの多くなるご支援、ご協力をお願い申上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

私は「原点は対話である」

という信念の下、会頭就任以来、全国各地を訪問し、地域や事業者の声を伺い、各

地域が抱える課題の把握に努めてまいりました。今後は

世代型社会保障制度の構築につきましても、引き続き要望してまいります。

2点目は「変革と価値共創による中小企業・小規模事業者の『稼ぐ力』の強化」です。成長型経済の実現には、中小企業・小規模事業者の付加価値と生産性の向上が不可欠であり、新分野進出、DX・GXの推進、知的財産の創造・保護・活用、海外展開、スタートアップとの連携などへの挑戦が求められます。また、事業承継を契機として、より強く魅力ある企業へと生まれ変わることが重要です。

3点目は「地域の稼ぐ力の向上による地域経済循環の推進」です。持続可能な観光地域づくり、地域に新たな投資を呼び込むためのインフラ整備や税財政支援、地域の産業を担う人材の確保・育成支援が求められます。いずれも商工会議所の主要な活動

テーマであり、当所はもとより、各地商工会議所が中核となつて取り組まれることを

そのためにも、適切な価格転嫁と取引適正化の推進は、人手不足や労務費の増加、さらには消費低迷など多くの課題に直面しています。

成長型経済への転換を確実化するためには、個々の企業が自己変革を果たし、変化する外部環境に適応していくなど、絶えず「変革」に挑み続ける姿勢が重要です。同時に、不確実性の時代においては、多様な主体が互いの強みを持ち寄り、新たな価値を共に創り、共に分かち合う「価値共創」の発想こそが、これから日本経済を支える基盤になると確信しています。

【現場主義・双方向主義】を

さらに発展させ、現場の声に真摯に向き合いながら、中小企業と地域の活性化、日本経済のさらなる成長に向けて、皆さまと共に全力を尽くしてまいります。皆さまの多くなるご支援、ご協力をお願い申上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

私は「原点は対話である」

という信念の下、会頭就任以来、全国各地を訪問し、地域や事業者の声を伺い、各

地域が抱える課題の把握に努めてまいりました。今後は

世代型社会保障制度の構築につきましても、引き続き要望してまいります。

2点目は「変革と価値共創による中小企業・小規模事業者の『稼ぐ力』の強化」です。成長型経済の実現には、中小企業・小規模事業者の付加価値と生産性の向上が不可欠であり、新分野進出、DX・GXの推進、知的財産の創造・保護・活用、海外展開、スタートアップとの連携などへの挑戦が求められます。また、事業承継を契機として、より強く魅力ある企業へと生まれ変わることが重要です。

3点目は「地域の稼ぐ力の向上による地域経済循環の推進」です。持続可能な観光地域づくり、地域に新たな投資を呼び込むためのインフラ整備や税財政支援、地域の産業を担う人材の確保・育成支援が求められます。いずれも商工会議所の主要な活動

テーマであり、当所はもとより、各地商工会議所が中核となつて取り組まれることを

そのためにも、適切な価格転嫁と取引適正化の推進は、人手不足や労務費の増加、さらには消費低迷など多くの課題に直面しています。

成長型経済への転換を確実化するためには、個々の企業が自己変革を果たし、変化する外部環境に適応していくなど、絶えず「変革」に挑み続ける姿勢が重要です。同時に、不確実性の時代においては、多様な主体が互いの強みを持ち寄り、新たな価値を共に創り、共に分かち合う「価値共創」の発想こそが、これから日本経済を支える基盤になると確信しています。

【現場主義・双方向主義】を

さらに発展させ、現場の声に真摯に向き合いながら、中小企業と地域の活性化、日本経済のさらなる成長に向けて、皆さまと共に全力を尽くしてまいります。皆さまの多くなるご支援、ご協力をお願い申上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

私は「原点は対話である」

という信念の下、会頭就任以来、全国各地を訪問し、地域や事業者の声を伺い、各

地域が抱える課題の把握に努めてまいりました。今後は

世代型社会保障制度の構築につきましても、引き続き要望してまいります。

2点目は「変革と価値共創による中小企業・小規模事業者の『稼ぐ力』の強化」です。成長型経済の実現には、中小企業・小規模事業者の付加価値と生産性の向上が不可欠であり、新分野進出、DX・GXの推進、知的財産の創造・保護・活用、海外展開、スタートアップとの連携などへの挑戦が求められます。また、事業承継を契機として、より強く魅力ある企業へと生まれ変わることが重要です。

3点目は「地域の稼ぐ力の向上による地域経済循環の推進」です。持続可能な観光地域づくり、地域に新たな投資を呼び込むためのインフラ整備や税財政支援、地域の産業を担う人材の確保・育成支援が求められます。いずれも商工会議所の主要な活動

テーマであり、当所はもとより、各地商工会議所が中核となつて取り組まれることを

そのためにも、適切な価格転嫁と取引適正化の推進は、人手不足や労務費の増加、さらには消費低迷など多くの課題に直面しています。

成長型経済への転換を確実化するためには、個々の企業が自己変革を果たし、変化する外部環境に適応していくなど、絶えず「変革」に挑み続ける姿勢が重要です。同時に、不確実性の時代においては、多様な主体が互いの強みを持ち寄り、新たな価値を共に創り、共に分かち合う「価値共創」の発想こそが、これから日本経済を支える基盤になると確信しています。

【現場主義・双方向主義】を

さらに発展させ、現場の声に真摯に向き合いながら、中小企業と地域の活性化、日本経済のさらなる成長に向けて、皆さまと共に全力を尽くしてまいります。皆さまの多くなるご支援、ご協力をお願い申上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

私は「原点は対話である」

という信念の下、会頭就任以来、全国各地を訪問し、地域や事業者の声

新年のごあいさつ

「オール館山で創る 未来のたてやま」



館山市長

森正一

明けましておめでとうございます。

皆様方には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日本に貢政へのお力添
かいご支援とご協力を賜り、
厚く御礼申し上げます。

これまでのさまざまな取組が実を結び、多くの花が開き、新たな成長を実感できる一

2月には、郷土の偉人で資生堂の創業者であります

福原市信氏の功績を紹介する博物館企画展を開催しました。

「中学校」が完成し、新校舎での教育活動がスタートしたほか、公私連携幼保連携

『母子保健と児童福祉の機能館山』が開園しました。また、母子保健と児童福祉の機能館山が開園しました。

さらには、「館山市立小中学校再編計画」に基づく統合校の開校に向けて、館山

—第5次館山市総合計画—
『基本構想』では、「まちの将来像」を「みんなが住んで楽しいまち・館山」としました。

11月には、長年交流を重ねてきた「台湾宜（イー）蘭（ラン）県（ケン）蘇澳（スー・アオ）鎮（チン）」との姉妹都市を締結しました。今後は主に経済分野での交流に期待を寄せて いるところです。

令和 8 年は、市民の皆様と共に歩みを進める館山市との次の 10 年間のビジョンを示す「第 5 次館山市総合計画」のスタートの年です。

工事に着手しました。10月には「N H K のど自慢」が6年ぶりに開催され、全国の皆さんへ館山の元気さと魅力を発信することがでできました。また、「九都県市合同防災訓練」を開催し、自助、近助、共助、公助の相互の繋がりを強化し、多くの皆様と防災関係機関の防災力の向上を図りました。

この基本目標の実現に向け、各種施策をしっかりと前へ進めてまいります。

さらに、将来にわたり持続可能な観光地として、継続的な財源確保のため、宿泊者、事業者の皆様の理解を得ながら、千葉県の「宿泊税」に加え、館山市独自の「宿泊税」の課税について検討を進めるとともに、官民が一体となつて、「D.M.O（観光地域づくり法人）」の設立に向けた準備を進めます。

人口減少社会において、館山市を「未来に向かう希望あるまち」にするために、市民の皆様をはじめ、企業や学校に加え、地域内外の多様な団体の方々、さらには館山市を愛する多くの皆様との連携が大切です。

「みんなが主役」となり、「オール館山」で、活気ある館山を共に創りましょう。

結びに、本年も市政運営にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新しい年が皆様にとりまして、素晴らしい年となりますことを心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

舍
S
H
U
S
A
N
S
H
A

株式会社 集贊舎

館山本社・館山工場
館山市山本226 〒294-0014
TEL.0470-22-2277
FAX 0470 23 2278

千葉支社(経営本部)
千葉市中央区生実町2498-8 ☎260-0813
TEL.043-300-8661
FAX.043-300-8665

お気軽にご相談ください。

充実した設備と 細かいサービス

大型カラー印刷機完備 !!

○モニシ・パ・ノ・ハ・ト 印刷

○オンデマンド印刷

データ入稿～印刷～製本

○記念誌・自分史・郷土史

写真集・自費出版 etc…



千葉県知事

熊谷俊人

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

所の皆様には、日頃から本

商工会議所及び会員事業

県経済の活性化や地域振興

に御理解、御協力をいただき

いておりますことに、厚く

御礼申し上げます。

昨年3月に千葉県知事に

再度当選をさせていただきました。

き、10月には、2期目の県

政において重点的に取り組

む政策・施策を取りまとめ

た「千葉県総合計画（「千

葉の未来をともに創る」）

を策定いたしました。

あわせて、成田空港周辺

の産業拠点の形成が期待

される地域のうち、特にス

ピード感や計画性を持つて

整備することが必要となる

ケースについて、県が産業

用地整備に直接取り組むこ

ととし、これらを通じて、

魅力的なエアポートシティの実現に向けた施策を進めています。

道路ネットワークは、本

県の半島性を克服し、県内

を活性化していくための重

要な基盤です。

とりわけ、成田空港の「第

2の開港」を支える広域道

路ネットワークの充実強化

は重要であり、全線開通を

控える圏央道や、北千葉道

本プロジェクトの効果を

空港のみならず周辺地域に

も最大限波及させるため、

式会社で「NRT（なりた

エリアデザインセンター」

を立ち上げ、産業拠点の形

成とそれを支えるまちづくり

を目標す「成田空港エア

ポートシティ構想」を策定

いたしました。

あわせて、成田空港周辺

の産業拠点の形成が期待

される地域のうち、特にス

ピード感や計画性を持つて

整備することが必要となる

ケースについて、県が産業

用地整備に直接取り組むこ

ととし、これらを通じて、

魅力的なエアポートシティ

の実現に向けた施策を進め

ています。

道路ネットワークは、本

県の半島性を克服し、県内

を活性化していくための重

路の早期整備を促進するとともに、その効果を県内全域に波及させるため、铫子連絡道路や長生グリーンラインなどのアクセス道路の整備を積極的に進めてまいります。

また、人口が集中し、渋滞が深刻化している県北西部では、新湾岸道路や千葉北

西連絡道路の計画の具体化のほか、国原道を含めた道路

網全体の円滑化に向けて積極的に取り組むとともに、千

葉港において新湾岸道路の効果を最大限に生かすため、

港と連携する臨港道路等の

検討をしてまいります。

これらの成田空港の拡張

事業や道路ネットワークの

整備により高まる本県のポ

テンシャルを最大限に生か

し、将来を見据えた新たな

産業・地域づくりを進めて

まいります。

また、企業の立地を一層

促進するため、県の魅力の

PRや企業ニーズに応じた

補助制度の柔軟な見直し等

を促進してまいります。

また、企業の立地を一層

促進するため、県の魅力の

PRや企業ニーズに応じた

補助制度の柔軟な見直し等

を促進してまいります。

県内経済の持続的な発展に向け、物価高騰や人手不足、米国の関税措置等の影響を受ける中小企業に対する適切な価格転嫁の推進、デジタル技術導入のための伴走支援や従業員の奨学金返還支援などに取り組んでまいります。

また、「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けて、企業等の脱炭素化や、ペロブスカイト太陽電池や洋上風力発電などによる再生可能エネルギーの導入の促進などに取り組んでまいります。

雇用関連では、働く若者のキャリアアップや所得向上、就職氷河期世代を含むミドル世代の安定した就労を促進してまいります。

観光については、地域資源を活用した魅力ある観光地づくりに取り組むほか、インバウンド客の誘致を促進します。また、宿泊税について、宿泊事業者や市町村の御意見を踏まえ、導入に向けた検討を進めてまいります。

また、本年11月には、ちばアクアラインマラソンを開催します。本県の持つ多様で豊かな自然や地域の特

性を生かした「海の上を走る」マラソン大会を開催し、

スポーツの振興と県の魅力

の取組を一層推進してまいります。

さらに、昨年新たに県全

域が指定された国家戦略特

区の制度を幅広い分野にお

いて活用するなど、世界を

リードする産業拠点の形成

や新事業の創出を図ってま

ります。本年もどうぞよろ

しくお願ひいたします。

結びに商工会議所及び会員

事業所の皆様のますますの御

発展と会員の皆様の御健勝を

お祈り申し上げまして、年頭

のあいさつといたします。

や企業・自治体との意見交換を行いました。

県では、本年県内で初開催されることになった同会

議の成功に向けて協力する

とともに、諸外国との友好

関係を生かし、本県の国際化や経済の活性化に資する

取組を行ってまいります。

昨年開催された大阪・関

西万博では、発酵をテーマ

に出展し、多くの方にご

来場いただき、好評を得たと

ころです。今後も、県内各

地の多彩な発酵の魅力を発

信するなど、「発酵県ちば」

の取組を一層推進してまい

ります。

また、本年11月には、ち

ばアクアラインマラソンを開催します。本県の持つ多

様で豊かな自然や地域の特

性を生かした「海の上を走

る」マラソン大会を開催し、

スポーツの振興と県の魅力

の発信を行ってまいります。

千葉県の更なる飛躍に向

け、本県の有する「空」「海」

「里」の魅力を磨き上げ、

県民の皆様とともに、新し

い千葉の未来を創つてまい

ります。本年もどうぞよろ

しくお願ひいたします。

32名が表彰の栄に浴する おめでとうございます！

令和 7 年度

市内事業所永年勤続
優良商工從業員表彰式を挙行



代表者謝辞 木村 誠さん

館山市と館山商工会議所が共催する、令和7年度市内事業所永年勤続優良商工従業員表彰式が、12月3日（水）館山商工会館で挙行されました。

この表彰制度は、市内の同一事業所に10年以上勤続し、他の模範となる勤労意欲と誇り高い愛社精神を持つ従業員が対象となっており、永年にわたり所属企業の発展に尽力し、さらに地域経済を力強く支える原動力となつた優秀な従業員を表彰する、非常に権威の高い表彰制度です。

今回表彰された方は、館山市長・館山商工会議所会頭表彰、勤続30年以上13名、勤続20年以上8名、勤続10年以上11名 合計32名の皆様です。氏名及び事業所名は次のとおりです。（敬称略）

◇勤続30年以上 13名

石井秀樹（株）ダスキン館山・
田辺真一（株）ダスキン館山・
金田はる江（極洋船舶工業
株）・小倉正敏（房州物流株）・
遠藤博英（房州物流株）・木
村 誠（株）房洋堂・佐藤武
夫（羽山信一税理士事務所）・
鈴木澄枝（羽山信一税理士事
務所）・林 正直（羽山信一
税理士事務所）・山根賢義（羽
山信一税理士事務所）・黒川
美津子（羽山信一税理士事務
所）・鈴木由美子（羽山信一
税理士事務所）・伊丹 剛（昭
和運送興業株）



20年以上代表 岩瀬高典さん



30年以上代表 金田はる江さん

△ 勸 続 20 年 以 上 8 名

北原貴昭（極洋船舶工業株）・
庄司武史（有房州日日新聞
社）・鈴木計也（房州物流株）・
堀田 功（株房洋堂）・粕谷
省吾（ライフパートナー税理
士法人）・岩瀬高典（株岡部
建設）・西尾尚樹（株岡部建
設）・石井正行（昭和運送興
業株）



10年以上代表 新田 勇さん

◇ 勤続10年以上	11名
深瀬裕太	（極洋船舶工業株）
川名 拓	（極洋船舶工業株）
早川美咲	（有房州日日新聞社）
佐藤 努	（房州物流株）
新田 勇	（館山信用金庫）
鈴木尚哉	（館山信用金庫）
海瀬友基	（館山信用金庫）
植田延代	（昭和運送興業株）
中山 亮	（昭和運送興業株）
石井真佐子	（昭和運送興業株）



夕陽と富士山の写真パネル設置プロジェクトご協賛者様 (敬称略)

（株）加納ペイント工業				
晴和会		（株）クリエイト・エンディ		
渡辺建設（株）		（株）ユタカ設備工業所		
（有）幸田旅館		ゆり庵（株）		
（有）はやかわ		花しぶきリゾート		（有）山本商店
君津信用組合館山支店		（株）清水屋商店		（有）木村ピーナッツ
（有）コミヤ電気工事		上野 澄子	白子屋酒店	（株）岡部建設
（有）三滝コンクリート工業		（株）サングリーン	亀田酒造（株）	（株）シンセイ
（有）イワタニライフ		（株）大成	渡邊文雄	マリンステーションハサマ
（有）レインボー		田中惣一商店	渡邊尚行	（株）千辰地所
千葉美装（株）		イントコーポレーション（株）	（有）カミヤマ	（有）三平商会
（株）まるい		（有）正団	ローソン館山山本店	昭和運送興業（株）
（株）房洋堂		サン・テック（株）	眞汐眞一	PUB WING
（有）ケア		（株）波奈	鈴木笑里	
民宿 つのだ	高橋 昌行	秋山 清	伊熊 雅美	船形ハウス

55の事業所・個人の皆様から、770,000円のご協賛を頂きました。

（上記以外に、事業所名やご芳名の掲載を望まれない6名の方々からもご協賛を頂きました）

皆様から多大なるご協賛を頂き、厚く御礼申し上げます。

夕陽と富士山の写真パネル設置プロジェクト 収支報告（令和7年12月12日）

協賛金合計	770,000円
支出合計（看板設置、写真謝礼等）	1,279,195円
差引金額	509,195円
※差引金額は、館山商工会議所より支出いたしました。	